

# シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAFは  
映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

## 人ノバ映画傑作集

### 収蔵作品特集

社会派から娯楽作品まで幅広い秀作・傑作を  
セレクトして上映

オリジナル・あるところで

特別企画

## ぴあフィルムフェスティバル in 福岡



水の花



ほほえむ魚



高校大バニック



あるべらすずい うんべると一消えぬように



トロイの欲情



珈琲とミルク





# インド映画傑作集

様々な地域・言語を網羅し、社会派から娯楽作品まで幅広い秀作・傑作をセレクトして上映

**10月5日(水)～22日(土)** \*休館日・休映日除く  
観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

\*定員制・各回入替制 \*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
\*障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)

虹に乗って

頬にキス

## おすすめ 大地のうた



1955年/35ミリ/モノクロ/125分/インド/日本語字幕付き  
監督:サタジット・レイ  
出演:シュビル・パナルジー、ウマ・ダーシュグプト

今回ご紹介する作品は、インド映画において最高の敬意と尊敬を集めるサタジット・レイ監督のデビュー作です。少年オプーはベンガル地方の小さな村に家族と暮らしていました。父親ホリホルのカーストは高いのですが、夢見がちな性格のため生活は苦しいままでした。一家には父親の遠い親戚の老女インディルが同居していましたが、ある日彼女は死んでしまいました。またオプーの姉も病気で亡くなります。出稼ぎから帰ったホリホルは新しい土地への引っ越しを決意する

のです。正にこの作品においてインド映画が世界に知れ渡ったといっても過言ではない傑作です。オプーの視点から描かれた村の景色は叙情的で美しく、オプーの家族に対する優しさが観客に染みいるように伝わってきます。本作はインドでも大ヒットするのですが、歌も踊りもない作品がヒットするなど当時のインドでは考えられないことでした。本作に続く「大河のうた」(56年)「大樹のうた」(59年)はオプー三部作と呼ばれ、世界中に多くのファンを持っています。

•10月15日(土)14:00  
•10月22日(土)11:00

## 詐欺師

•10月14日(金)14:00  
•10月16日(日)14:00



1955年/35ミリ  
モノクロ/171分  
インド/日本語字幕付き  
監督:ラージ・カプール  
出演:ラージ・カプール、ナルギス

田舎出身の貧しいラージュは職を求めてボンベイにやって来るが、いかさま賭博の片棒をかつがされてしまう。大スター、ラージ・カプールがチャップリン風の出で立ちで活躍する大ヒット娯楽作品。

## 紙の花

•10月13日(木)14:00  
•10月22日(土)14:00



1959年/35ミリ  
モノクロ/149分  
インド/日本語字幕付き  
監督:グル・ダット  
出演:グル・ダット、  
ワヘーダー・ラフマーン

インド映画50年代を代表する監督の一人、グル・ダットの代表作。1930年代のボンベイを舞台に新作のヒロインを探す監督の役をグル・ダット本人が演じており、彼の自伝的要素が色濃く出ている。

## アマル・アグニ・アントニー

•10月10日(月・祝)14:00  
•10月19日(水)14:00



1977年/35ミリ  
カラー/174分  
インド/日本語字幕付き  
監督:マヌ・ハン・デサイ  
出演:アミター・バッチャン  
ヴィノッド・カンナー

生き別れとなった三人兄弟アマルとアグニとアントニーが、大人になって再会しギャング相手に大活躍する作品。男優、女優とも出演はみな当時の大スターで、歌と踊りがふんだんに盛り込まれたインド的娯楽作品の典型である。

## 占拠

•10月10日(月・祝)11:00  
•10月21日(金)19:00



1981年/35ミリ  
カラー/73分  
インド/日本語字幕付き  
監督:ゴータム・ゴース  
出演:モモタ・ジョンコン  
ラビン・シェン・グロ

ベンガル地方のカクラマと呼ばれる狩猟部族を描いた作品。荒地を開墾しようとする彼らと地主との確執が描かれる。インドにおける先住民族への差別を描いた社会派の作品で、82年インド映画祭で最優秀作品賞を受賞した作品。

## オリダット・あるところ

•10月9日(日)11:00  
•10月21日(金)14:00



1986年/35ミリ  
カラー/113分  
インド/日本語字幕付き  
監督:G.アヴィンダン  
出演:ネドゥムディ・ヴェース  
ティラカン

50年代中頃のインドケララ州。共産党政権が誕生する直前の州の様子が描かれる。のどかな村の風景、村人や祭りの様子、村に初めて電気が通った事の驚きなど、変わりゆく村の変化がのびりと描かれる。

## バンディット・クイン

•10月8日(土)17:00  
•10月20日(木)19:00



1994年/35ミリ  
カラー/120分  
インド/日本語字幕付き  
監督:シェーカル・カプール  
出演:シーマ・ビショワース  
ニルマル・バーンデー

「女盗賊ブルーラン」として日本でも話題となった、実在の女盗賊ブルーランを描いた作品。カースト制と女性差別という二重の差別を打ち破った彼女はヒーローとなり、多くの人に称えられている。しかし昨年彼女は暗殺されてしまう。

## 青いマンゴー

•10月8日(土)11:00  
•10月20日(木)14:00



1999年/35ミリ  
カラー/97分/インド  
日本語・英語字幕付き  
監督:アモル・バーレーカル  
出演:シルバ・ナヴァルカル  
ヨーギター・デーシュムク

両親を亡くし叔母であるターニーの家に預けられた少女の物語。しかしターニーの夫は横暴で、少女を冷たく扱うのだった。少女の家族や友人との交流が、詩情豊かに描かれたインド映画の傑作である。

## Mr.&Mrs.アイヤル

•10月8日(土)14:00  
•10月14日(金)19:00



2002年/35ミリ  
カラー/120分/インド  
日本語・英語字幕付き  
監督:アパルナ・セン  
出演:ラーフル・ボース  
コンコナ・センシャルマー

タミル人の人妻アイヤルは帰省の途中、ヒンドゥー教徒達の暴動に巻き込まれてしまう。偶然同じバスに乗っていたイスラム教徒のラジャと親しくなった彼女は、ラジャと夫婦の振りをして逃げ道を探す。宗教対立を描いた社会派の作品。

## 少年とハーモニカ

•10月7日(金)14:00  
•10月15日(土)17:00



2002年/35ミリ  
カラー/80分/インド  
日本語・英語字幕付き  
監督:A.K. ビール  
出演:ヤークブ・シェーク  
ラーム・アワナー

勉強嫌いな11才の少年シーブーは、靴の修理をしている叔父の元に預けられる。ところがシーブーは頭の良い機転の利く少年で、様々な難問を次々と解決してしまう。シーブーの魅力に溢れる児童映画の傑作。

## 心の調べ

•10月7日(金)19:00  
•10月22日(土)17:00



2002年/35ミリ  
カラー/118分/インド  
日本語・英語字幕付き  
監督:シャージ・N・カルン  
出演:アルチャナー  
ラジット・カプール

70年代初頭、北インドの街にサティーとゴービーの夫婦は肩寄せ合うように暮らしていた。二人の楽しみは息子からの定期的な電話だったが、息子は空軍に所属しており、インド・パキスタン戦争の始まりと共に連絡は途絶えてしまう。

## 虹に乗って

•10月6日(木)14:00  
•10月15日(土)11:00



2002年/35ミリ  
カラー/116分/インド  
日本語・英語字幕付き  
監督:ジャヌ・ボルア  
出演:ビシュ・カルゴリア  
ロニック

殺人容疑をかけられた少年クコイと定年間際の監察官ビシュフの交流の物語。ゆっくりとクコイの心を解きほぐすビシュフは、実はクコイが優しい少年であることを理解していく。ファンタジーと希望溢れる作品である。

## 頬にキス

•10月5日(水)14:00  
•10月9日(日)14:00



2002年/35ミリ  
カラー/136分/インド  
日本語・英語字幕付き  
監督:マニラトナム  
出演:P.S.キールタナー  
マードヴァン

チェンナイに住む少女アムダーは、ある日自分が養女であり、本当の両親はスリランカに住むタミル人であることを知る。両親に会うためにスリランカに向かうアムダーだが、そこは内戦の最中だった。マニラトナム監督らしい娯乐的なタッチの社会派作品。

## へだたり

•10月6日(木)19:00  
•10月16日(日)11:00



2004年/35ミリ  
カラー/92分/インド  
日本語・英語字幕付き  
監督:シャーマプラサード  
出演:ブイトヴィラージ  
ギート・モーハンダース

テネシー・ウィリアムズの戯曲「ガラスの動物園」を、70年代のインドケララ州に置き換えた作品。教育に口うるさい母親に育てられた、足の悪いローズの悲劇が兄ニールの視点から語られていく。



# ぴあフィルムフェスティバル in 福岡

自主制作映画の日本最大のコンペティションである「ぴあフィルムフェスティバル」からコンペティション入選作及び近年の話題作を上映

**10月27日(木)～30日(日)**

主催:映像ホール・シネラ実行委員会、福岡市総合図書館、PFFパートナーズ

観覧料:1,000円(当日1回券)800円(前売り1回券)4,000円(当日5回券)3,500円(前売り5回券)

\*定員制・各回入替制 \*障がい者割引及び高齢者割引なし。  
\*前売り券はチケットぴあ(Pコード 474-959)にて発売中

## 27日(木)

15:00

●招待作品上映

### 「ほほえむ魚」

2005年/ビデオ/カラー  
台湾/10分  
監督:C.ジェイ・シン



ハート・オブ・ザ・シー

### 「ハート・オブ・ザ・シー」

2004年/ビデオ/カラー  
フランス/57分  
監督:シャロット・ラガルデ&  
リサ・デンカー

「ほほえむ魚」はアジアで大人気の絵本作家ジミー原作のアニメ化作品。香港映画祭短編アニメ部門グランプリ受賞。「ハート・オブ・ザ・シー」はハワイの伝説的女性プロサーファーを描いたドキュメンタリーで、彼女の半生を力強く描いている。

17:00

●招待作品上映 石井聰互特集

### 「高校大パニック」

1976年/DVD/カラー/16分  
監督:石井聰互



突撃!博多急連隊

### 「突撃!博多急連隊」

1978年/DVD/カラー/67分  
監督:石井聰互

福岡市出身のカリスマ的映画監督・石井聰互の原点ともいえる8ミリ作品が、デジタル技術によりDVD化され登場。全編にみみぎるパワーとエネルギーは当時も今も不変である。

19:00

●招待作品上映

### 第15回PFFスカラシップ作品 「水の花」

2005年/35ミリ/カラー/92分  
監督:木下雄介



「鳥籠」(PFFアワード2003)で準グランプリを獲得した木下雄介監督のスカラシップ作品。幼い頃母親に捨てられた美奈子と、異母兄弟である優の交流を繊細な演出で描き出していく。

19:00

●PFFアワード2005

### PFFアワード2005審査員特別賞 「BAMBI♥BONE」

2004年/DV/カラー/78分  
R-15指定作品  
監督:渋谷のりこ



BAMBI♥BONE

### 「ファンナイ」

2004年/DV/カラー/54分  
監督:本間卓也

「BAMBI♥BONE」は少年タダオと少女アヤが、冬休みに二人だけの遊びを見つけ出す作品で、家族崩壊を描き出していく。「ファンナイ」は妻を亡くした塾講師の主人公が、妻の死の真相を探して旅に出る物語。

## 29日(土)

11:00

●PFFアワード2005

### 「酸欠の海」

2004年/16ミリ/カラー/65分  
PG-12指定作品  
監督:松上元太



酸欠の海

### PFFアワード2005 ベストエンタテインメント賞 「ロールキャベツの作り方」

2004年/DV/カラー/17分  
監督:熊谷まどか



ERIMO

### 「ERIMO」

2004年/DV/カラー/48分  
監督:芹澤良克

「酸欠の海」は工場で働く菊池と和也という正反対の二人の孤独感を描き出した作品。「ロールキャベツの作り方」はアル中気味のレイコが久々に訪ねてくる彼のために奮闘して料理を作る作品。「ERIMO」は「水木しげる展」の会場に展示する等身大の鬼太郎&目玉おやじの制作を追ったドキュメンタリー。

14:00

●PFFアワード2005

### PFFアワード2005グランプリ 「あるべらえす うんべると ー消え入ぬようにー」

2004年/DV/カラー/92分  
監督:関乃介



カササギの食卓

### 「カササギの食卓」

2004年/DV/カラー/33分  
監督:石川真吾

「あるべらえす うんべるとー消え入ぬようにー」は南米コロンビアから出稼ぎに来たウンベルトの生活を描いたドキュメンタリー。「カササギの食卓」は精神病院に入院した女性の実話を基に描かれた人間ドラマ。



あるべらえす うんべるとー消え入ぬようにー

17:00

●PFFアワード2005

### PFFアワード2005観客賞 「偶然のつづき」

2004年/DV/カラー/94分  
監督:遠藤尚太郎



シミズハカセ

### 「シミズハカセ」

2004年/DV/カラー/34分  
監督:小林でび

「偶然のつづき」は夢や恋愛に悩みながらも、漫然と毎日過ごす男女3人の大学生を描いた青春映画。「シミズハカセ」は看護士あつこと、彼女の前に突然現れた怪人シミズハカセを描いた爆笑コメディ。

## 30日(日)

11:00

●PFFアワード2005

### PFFアワード2005審査員特別賞 「おわりはおわり」

2004年/DV/カラー/120分  
監督:川原康臣



おわりはおわり

### 「コスプレイヤー」

2004年/DV/カラー/20分/  
監督:相手由貴子

「おわりはおわり」は行方不明だった兄が記憶を無くして突然帰ってくる物語。「コスプレイヤー」はコンビニでバイトする女の子の物語。彼女は場所に応じてキャラを変えるコスプレ感覚で生活していたのだ。若者の姿がリアルに浮かび上がる作品。

14:00

●PFFアワード2005

### PFFアワード2005 準グランプリ・音楽賞・技術賞 「トロイの欲情」

2003年/16ミリ/カラー/85分  
PG-12指定作品  
監督:岡太地



トロイの欲情

### 「日向ぼこ」

2004年/DV/カラー/49分  
監督:佐藤いづみ

「トロイの欲情」は鬱屈した16才の少年と空虚な生活を送る人妻との出会いを描いた作品。「日向ぼこ」は田舎に住む姉と都会に住む妹の物語。結婚を前に突然失踪した姉を見つけた妹は二人で語り合う。

17:00

●PFFアワード2005

### 「エスカルゴ」

2004年/DV/カラー/83分  
監督:丸



珈琲とミルク

### PFFアワード2005審査員特別賞 企画賞・クリエイティブ賞 「珈琲とミルク」

2004年/DV/カラー/30分  
監督:熊坂出

「エスカルゴ」は子供の頃から孤高の道を行ってきた青年の物語。不器用な青年の成長をコメディタッチで描いている。「珈琲とミルク」はカフェで働く耳の聞こえない少女に想いを寄せる小学6年生の少年ミルクの物語。心温まる作品。



Pia Film Festival  
in Fukuoka



10月

上映スケジュール

1 土 休 映 日

2 日 自主上映[第9回 美空ひばり チャリティ懐かしの映画会]

3 月 休 館 日

4 火 休 映 日

5 水 [14:00] 頬にキス

6 木 [14:00] 虹に乗って [19:00] へだたり

7 金 [14:00] 少年とハーモニカ [19:00] 心の調べ

8 土 [11:00] 青いマンゴー [14:00] Mr.&amp;Mrs.アイヤル [17:00] パンティット・クイーン

9 日 [11:00] オリダット・あるところで [14:00] 頬にキス

10 月(第) [11:00] 占拠 [14:00] アマル・アクバル・アントニー

11 火 休 館 日

12 水 休 映 日

13 木 [14:00] 紙の花

14 金 [14:00] 詐欺師 [19:00] Mr.&amp;Mrs.アイヤル

15 土 [11:00] 虹に乗って [14:00] 大地のうた [17:00] 少年とハーモニカ

16 日 [11:00] へだたり [14:00] 詐欺師

17 月 休 館 日

18 火 休 映 日

19 水 [14:00] アマル・アクバル・アントニー

20 木 [14:00] 青いマンゴー [19:00] パンティット・クイーン

21 金 [14:00] オリダット・あるところで [19:00] 占拠

22 土 [11:00] 大地のうた [14:00] 紙の花 [17:00] 心の調べ

23 日 第13回 福岡映像コンテスト

24 月 休 館 日

25 火 休 映 日

26 水 休 映 日

27 木 [15:00] 「ほほえむ魚」 [17:00] 「高校大パニック」 [19:00] 「水の花」

[「ハート・オブ・ザ・シー」 「突撃!博多愚連隊」]

28 金 [13:00] [17:00] [19:00] 「BAMBI♥BONE」

「アムラダワ・ファントム・オブ・シネマーク」 「フランソワ・トリュフォーの軌跡」 「フアンナイ」

29 土 [11:00] 「酸欠の海」 [14:00] 「縁べんきくはと 散入ぬに」 [17:00] 「偶然のつづき」

「ロールキャベツの作り方」 「ERIMO」 「カササギの食卓」 「シニミズハカセ」

30 日 [11:00] 「おわりはおわり」 [14:00] 「トロイの欲情」 [17:00] 「エスカルゴ」

「コスプレイヤー」 「日向ぼこ」 「珈琲とミルク」

31 月 休 館 日

インド映画傑作集

福岡フィルムフェスティバル



へだたり



青いマンゴー



紙の花



Mr.&amp;Mrs. アイヤル



パンティット・クイーン



詐欺師



フランソワ・トリュフォーの軌跡



次号予告

宝田明シネマトーク

「宝田明 大いに語る」

日本と香港の合作映画の黎明期、香港の女優尤敏(ユ・ミン)との共演による「香港 三部作」で人気を博した宝田明氏によるシネマトーク



香港の夜

11月3日(木・祝)

14:00~宝田明シネマトーク

「宝田明 大いに語る」

15:10~映画上映「香港の夜」

\*シネマトークは、映画「香港の夜」とセット料金

\*入場料は、1,000円(前売り券800円)

\*前売り券は、10/1から発売予定

西南学院大学 2005年度 後期公開講座

2005年日本映画の旅(オデッセイ)

黄金期から70年代までを中心に、日本映画の歴史的な運動の総体に迫る連続講座

9月30日(金)~12月16日(金)

18:00~19:30

会場:西南学院大学

連絡:福岡市総合図書館

受講料:4,000円(12回合計)

問い合わせ

西南学院大学 学外連携推進室(092-823-3232)

## I N F O R M A T I O N

■ ホームページ「うえぶシネラ」をご覧ください。

●うえぶシネラアドレス <http://www.cinela.com>

■ ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)

\*詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

■ 自主上映のお知らせ

10月2日(日)第9回 美空ひばり チャリティ懐かしの映画会

●べらんめえ探偵娘 [10:30] [14:00] ●ひばり十八番 井天小僧 [12:15] [15:45]

観覧料/前売:1,300円 当日:1,500円

主催/美空ひばり後援会(TEL 093-293-2415 牛島弘子 午後8時以降)

\*自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。

■ 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので、長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力いただきますようお願いいたします。

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄:西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: \*天神~都市高速経由~福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分) \*博多駅~都市高速経由~福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分) 福岡タワー南口(バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館  
映像ホール・シネラ

〒814-0001

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館

(代表) 092 (852) 0600

映像資料課 092 (852) 0608

FAX 092 (852) 0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

ホームページアドレス

<http://www.cinela.com>

発行:映像ホール・シネラ実行委員会

デザイン:宝田明デザイン事務所/印刷:株式会社西日本新聞印刷

R100

古紙100%再生紙を使用しています。